

タイ・ユニオン・グループ(TUn)

2019/12期3Q(7-9月)は20.6%の減益、フードテック向けベンチャーファンドの開設など技術革新に取り組む
タイ|加工食品|業績フォロー

BLOOMBERG TU:TB | REUTERS TU:BK

- 11/5発表の2019/12期3Q(7-9月)は、売上高が前年同期比6.8%減の318.38億THB、EBITが同9.7%減の22.67億THB、純利益は同20.6%減の13.74億THB。タイパーツの増価と主要な食品価格の下落が響いた。
- 通期会社計画は、売上高が前期比3-5%増、粗利益率が15%、売上高販管費率が10.0-10.5%、設備投資が約48億THB、配当性向が50%。
- フードテック分野に投資するベンチャーファンドを立ち上げるなど技術革新に積極的に取り組む。12/6にはTMA(Thailand Management Association)より、イノベーションエクセレンス賞を受賞した。

What is the news?

11/5発表の2019/12期3Q(7-9月)は、売上高が前年同期比6.8%減の318.38億THB、粗利益が同6.1%減の50.77億THB、EBITが同9.7%減の22.67億THB、税引前利益が同12.4%減の17.59億THB、純利益は同20.6%減の13.74億THB。タイパーツが主要通貨に対し増価したこと、および主要な食品価格の下落により減収となった。為替変動の影響を除くベースの売上高は同1.3%減。粗利益率は15.9%と前年同期の15.8%から上昇したが、売上高の落ち込みを補えなかった。新製品の発売と販売促進のためのマーケティング支出の増加により販売費・一般管理費は同0.6%増の35.61億THB。売上高販管費率は11.2%と前年同期の10.4%から上昇した。

製品部門別の概況は以下の通り。マグロ、サーディン、サバ関連製品やパウチサーモンなどを含む①魚介類・水産加工品は、売上高が前年同期比13.9%減の144.66億THB、製品販売量が同3.1%減の90,353トン。タイパーツが米ドル、ユーロに対し増価した影響で、特に欧州市場が振るわなかった。エビ、ロブスター、養殖エビ用飼料などエビ関連製品やスモークサーモン、イカ・タコ、カニ、貝類などの冷凍製品を含む②冷凍シーフード関連製品は、売上高が同2.0%減の127.68億THB、販売数量が同15.2%増の73,084トン。エビやロブスターを中心に販売は伸びたが、米ドルの減価と食品価格の下落により減収。③ペットフード&高付加価値製品は、売上高が同6.3%増の46.04億THB、販売数量が同2.6%増の68,874トン。ペットケア製品の販売が伸びたほか、海産素材事業の成長も寄与。

How do we view this?

通期会社計画は、売上高が前期比3-5%増、粗利益率が15%(前期実績:14.2%)、売上高販管費率が10.0-10.5%(同:10.7%)、設備投資が約48億THB(同:55.05億)、配当性向が50%(同:58.8%)。1Q発表時に売上高を下方修正している。10/17には3,000万USD規模のベンチャーファンドの立ち上げ、食に技術革新を起こすフードテック分野へ投資すると発表。12/6にはTMA(Thailand Management Association)より、コーポレート・エクセレンス・アワード2019でイノベーションエクセレンス賞を受賞。技術革新への取り組みは、同社の競争力向上につながる。

業績推移

※参考レート 1THB=3.58円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万THB)	134,375	134,937	133,284	129,534	133,001
当期利益(百万THB)	5,254	5,989	3,256	4,818	5,440
EPS(THB)	1.10	1.25	0.68	1.03	1.14
PER(倍)	11.91	10.48	19.26	12.72	11.49
BPS(THB)	9.06	9.28	9.06	9.69	10.53
PBR(倍)	1.45	1.41	1.45	1.35	1.24
配当(THB)	0.63	0.66	0.40	0.45	0.58
配当利回り(%)	4.81	5.04	3.05	3.41	4.45

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.45	(予想はBloomberg)
終値(THB)	13.10	2019/12/9

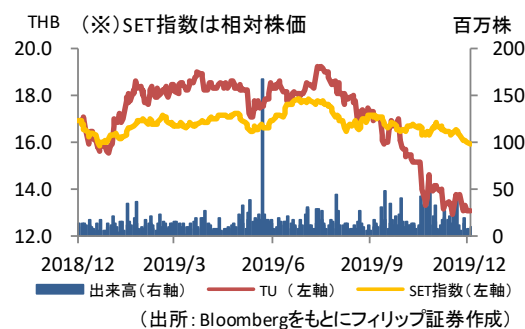
会社概要

1977年にマグロ缶詰の製造、輸出を目的に設立。タイ国内で冷凍食品・チルド食品およびシーフード缶詰の製造・販売を行っているほか、子会社を通じパッケージングや印刷、ペットフードなどの事業も手掛けている。海外においては、米国子会社がロブスターをはじめシーフード製品の製造・販売を行うほか、レストランチェーンや小売業者、卸売業者向けにエビをはじめとする冷凍シーフード製品の輸入販売を行っている。欧州子会社は欧州、米国、オーストラリアで密封包装食品やチルドシーフードの製造・販売を行っており、アジアの子会社はベトナムおよび中国でシーフード製品の製造・販売を手掛けている。2015年には世界最大のシーフードレストランチェーンの米レッド・ロブスターへ出資を行った。

北米では「Chicken of the Sea」「Genova」、欧州では「John West」「Petit Navire」「Parmentier」「King Oscar」「Mareblu」「Rügen Fisch」、アジア太平洋地域では「SEALLECT」「FisHo」「King Oscar」「Qfresh」「Monori」「Bellotta and Marvo」などのブランドを展開する。

企業データ(2019/12/11)

ベータ値	0.99
時価総額(百万THB)	62,511
企業価値=EV(百万THB)	130,203
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	251.5



主要株主(2019/12)

1. STOCK EXCHANGE OF THAILAND	12.16
2. 三菱商事	7.29
3. BBL ASSET MGMT CO LTD	7.19

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾
togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
笹木 和弘
kazhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>